

## かぎ針のケーブル模様のニット帽

\* - \*



- 使用糸…グランディール  
(毛糸 zakka ストアーズ)
- 使用針…かぎ針 8号
- 使用量…約 3 玉弱
- サイズ…頭囲約 52cm

\* - \*

## ■ 編み方

編む順番は、編み図内に記載している模様編み A→模様編み B→縁編み（赤で記載）になります。

- ① 鎖編み 12 目で作り目し、模様編み A を 55 段編みます。  
この際、偶数段を編んでいるときに見ている方が表になります。





② 55段編めたら、表を内側にして半分に折り、端同士を引き抜き編みでとじ合わせます。



③ とじ終わったら、表に戻します。



これで、模様編み A を編み終わりました。  
糸は切らずに、続けて模様編み B を編んでいきます。

④ 模様編み A の段から目を拾って、模様編み B の 1 段目を編みます。1 周 102 目拾います。



⑤ 続けて減らし目しながら模様編み B を編み、最後の 2 段は全目を 2 目一度しながら編んでいきます。  
内側から頭頂部の穴をふさぐようにとじます。

⑥ 被り口側に糸をつけ、縁編みとして長編みを1段編んで完成です。

模様編みAは、サイズに合わせて段数を変更してください。サイズ変更の際は奇数段で終わるようにしてください。

模様編みAから目を拾う際は、1周の目数が6の倍数になるようにします。

ちなみに、55段から102目拾う場合…

基本は1段から2目ずつ拾うようにして、長編み11目編んだら長編み2目一度を1回編むを8回繰り返して、余った部分は、そのまま1段から2目ずつ拾っていくと、ちょうど102目になるかと思います。

縁編みは1段から2目ずつ長編みを拾いますが、波打つようなら、かぎ針の号数を1号下げるか、ところどころで減らし目を入れて加減しながら編んでください。

引き上げ編みは、表から見た記号で描かれています。

裏を見ながら編む段では、記号通りに編むのではなく、表から見たときにその編み目記号になるように編んでください。

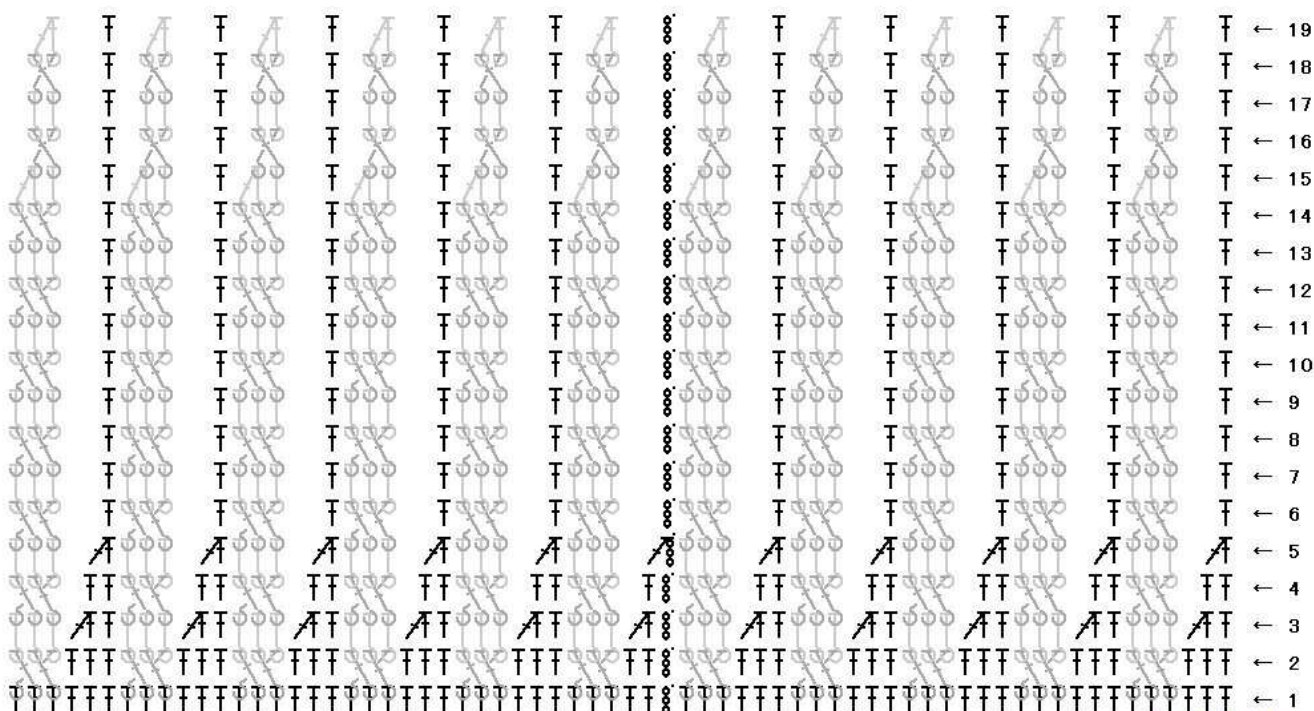
(例：裏の段では、表引き上げ編みの記号→表引き上げ編みを編むのではなく、表からみて表引き上げ編みになるように編む→裏引き上げ編みで編む)

模様編みAは平編みで、模様編みBは輪の状態と同じ方向に向かって編んでいきます。

模様編みBを編む際、長編みは右に流れない編み方で編んでください。



20段目21段目で、全目を2目一度して、最後は穴をとじる様に裏からかがる



55段編む輪の状態にとじたら、段から102目拾って、長編みを編む

↑ 模様編みB

